

広島商船高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)		授業科目	ビジネス英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	1954001			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	講義			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	流通情報工学科			対象学年	5		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	配布資料						
担当教員	小川 春樹						
到達目標							
(1)日本語を適切に理解及び運用することができる。(評価項目1, 2) (2)上記(1)を基に、日本語を適切な英語で、英語を適切な日本語で捉えることができる。(評価項目1, 2) (3)異文化理解の姿勢を持ち、その第一歩として適切な語彙力を有する。(評価項目3) (4)日本語と英語の両言語を一对一の対連合関係ではなく、両言語の表現及び表す意味の違いを有機的に捉えることができる。(評価項目4) (5)「話す、聞く、読む、書く」の四技能の理解及び運用の能力を有する。(評価項目5)							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1：日本語の理解と運用	日本語を適切に理解及び運用することができる。		日本語の語感や意味を説明できる。		日本語の語感や意味を言語化できない。		
評価項目2：英語の理解と運用	上記(1)を基に、日本語を適切な英語で、英語を適切な日本語で捉えることができる。		自分の言葉で両言語の異同を言語化することができる。		教員によるサポートがあっても両言語の異同を言語化できない。		
評価項目3：言語に対する意識	異文化理解の姿勢を持ち、その第一歩として適切な語彙力を有する。		授業で紹介された語彙・表現に関しては全て理解し運用もできる。		授業で紹介された語彙・表現の理解及び運用ができない。		
評価項目4：総合的な言語形式の理解と運用	日本語と英語の両言語を一对一の対連合関係ではなく、両言語の表現及び表す意味の違いを有機的に捉えることができる。		両言語における言語形式及び文型の使用方法を理解している。		両言語における言語形式及び文型の使用方法を理解できない。		
評価項目5：実践的な知識の理解と運用	「話す、聞く、読む、書く」の四技能の理解及び運用の能力を有する。		話す・聞く：授業での会話練習で教員の問いかけに対して意味交渉をすることができる。 読む・書く：綴りや言語形式を正しく書くことができる。		話す・聞く：言語的に意思表示ができない。 読む・書く：綴りや言語形式が正しく書けない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	(1) 授業では「Bushido」「広島に関する本」を読み、英語の特異な表現や日本の精神や地元地域に関する知見を広めたり、ヨーロッパ思想的な解釈を理解したりして、それについて自ら考え、自らの言葉で相手に伝える訓練を行う。また、洋画から英語の表現や文化を学ぶ。主として講義形式で進めるが、必要に応じてディスカッションや発表を行うこともある。 (2) 両言語の文化的背景や統語的・語彙的異同を理解し、総合的に様々な英語の資格のスコアアップを目指す。 (3) 暗記の勧めや試験においての得点力に関しては優先順位は低く、英語をツールとして利用できるようになることを目指す。						
授業の進め方・方法	授業は主として以下のように大きく三つのパートからなる。英語力の総合的な向上を目指し、「Bushido」を読み、理解する。扱った内容に関する英語表現や単語、ストーリーの流れをレクチャーしたのち、自らの経験や将来と照らし合わせ、自己理解や自己分析を行う。その内容について英語を使いコミュニケーションをとる練習を行う。また、ストーリーに登場する想像の難しい事柄については、体験を重視し、理解に努める。また、洋画に関しては、ストーリーや内容への感想や考えを英語で述べるとともに、海外文化への理解と関心を高める。教員は適宜机間巡視を行うので、積極的に取り組み、質問があれば授業時間内に必ず解決することを求めたい。						
注意点	(1) 主として講義形式で進めるが、必要に応じて発表やディスカッションを行う。積極的な参加を求めたい。 (2) 不明な点がある場合は積極的に質問すること。 (3) 自分で考え、教員からの問いかけに対して自分の言葉で考えを言語化する姿勢を持ってほしい。 (4) 授業スケジュールは履修者の理解度に応じて適宜変更するため、あくまでも暫定的なものであることを申し添える。 (5) それぞれの学生の英語力向上意識に対して、幅広い対応を目指すため、自己の意識を授業の初めに確認しておくことを勧める。						
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		授業進行上の注意点、成績評価などに関して理解する。		
		2週	Bushido		熟語表現、語彙を理解し、自ら使えるようになり、異文化の理解や自己の意見や考えを伝えることができる。		
		3週	Bushido		熟語表現、語彙を理解し、自ら使えるようになり、異文化の理解や自己の意見や考えを伝えることができる。		
		4週	Bushido		熟語表現、語彙を理解し、自ら使えるようになり、異文化の理解や自己の意見や考えを伝えることができる。		
		5週	Bushido		熟語表現、語彙を理解し、自ら使えるようになり、異文化の理解や自己の意見や考えを伝えることができる。		
		6週	Bushido		熟語表現、語彙を理解し、自ら使えるようになり、異文化の理解や自己の意見や考えを伝えることができる。		

基礎的能力	0	40	40	20	0	0	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0